

2019年10月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年9月13日

上場会社名 ロングライフホールディング株式会社
 コード番号 4355 URL <http://www.longlife-holding.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 正一
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営本部長 (氏名) 瀧村 明泰

TEL 06-6373-9191

四半期報告書提出予定日 2019年9月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年10月期第3四半期の連結業績(2018年11月1日～2019年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年10月期第3四半期	9,852	2.7	11		72		312	
2018年10月期第3四半期	9,591	6.4	214	27.6	19		118	

(注) 包括利益 2019年10月期第3四半期 321百万円 (%) 2018年10月期第3四半期 121百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年10月期第3四半期	30.39	
2018年10月期第3四半期	11.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年10月期第3四半期	17,079	2,778	16.3	267.70
2018年10月期	16,609	3,132	18.9	306.08

(参考) 自己資本 2019年10月期第3四半期 2,778百万円 2018年10月期 3,132百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年10月期		0.00		8.00	8.00
2019年10月期		0.00			
2019年10月期(予想)				8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年10月期の連結業績予想(2018年11月1日～2019年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,100	9.6	420	42.1	340	764.4	85		8.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年10月期3Q	11,190,400 株	2018年10月期	11,190,400 株
期末自己株式数	2019年10月期3Q	812,605 株	2018年10月期	955,605 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年10月期3Q	10,275,873 株	2018年10月期3Q	10,234,795 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な原因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態については遡及処理後の前連結会計年度末の数値で比較を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国及び中国の貿易摩擦の影響を受け、製造業を中心として中国向け輸出が低迷しており、足踏み感が広がっております。一方、雇用情勢については、サービス業を中心に依然として人手不足の状況にあり、雇用者数、実質賃金共に堅調な拡大傾向が続いております。

介護サービス業界においては、政府が「一億総活躍社会」の実現に向けて介護離職ゼロの方針を掲げ、介護施設の整備・増設対策を打ち出す一方、サービスの担い手である人材の確保について厳しい状況が続いております。

当社グループは、事業の要である人材に対して、多様な働き方や職場環境を提供するため、ワークライフバランスや研修制度の充実、処遇改善、海外展開によるグローバル化等の取り組みを行ってまいりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は98億52百万円（前年同期比2.7%増）と増収となりましたが、営業損益は前連結会計年度後半に開設した施設の固定費増などにより11百万円の損失（前年同期は2億14百万円の営業利益）となり、経常損益は72百万円の損失（前年同期は19百万円の経常損失）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損益は減損損失99百万円を計上したことなどにより3億12百万円の損失（前年同期は1億18百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

なお、2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社（現ロングライフメディカル株式会社）への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しており、遡及処理後の前年同期数値との比較を行っております。

①ホーム介護事業

ホーム介護事業につきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるホーム数は22ホームで居室総数は960室となっております。ホーム介護事業の運営体制の効率アップ並びにブランディング活動等の営業強化により、入居率の引き上げに注力しております。

ホーム介護事業の売上高は34億1百万円（前年同期比2.4%増）、経常損失は2億63百万円（前年同期は9百万円の経常利益）となりました。

②在宅介護事業

在宅介護事業につきましては、当第3四半期連結会計期間末におけるサービス数は132サービスとなっております。事業拠点の見直しによる収益力の向上並びに障がい支援サービス等の介護保険適用外サービス獲得のための活発な営業活動を行っております。

在宅介護事業の売上高は42億7百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益は4百万円（前年同期比90.6%減）となりました。

③福祉用具事業

福祉用具事業につきましては、福祉用具の販売・レンタル、住宅改修の専門企業として、お客様の日常生活の自立を支援するサービスを提供しております。

福祉用具事業の売上高は11億45百万円（前年同期比9.3%減）、経常利益は10百万円（前年同期比44.6%減）となりました。

④フード事業

フード事業につきましては、主に当社が運営する有料老人ホーム等に食事を提供しております。また、オリジナル商品の販売等によるグループ外への営業強化に注力することで、ブランド力の向上に努めております。

フード事業の売上高は28百万円（前年同期比37.6%減）、経常利益は5百万円（前年同期比75.5%減）となりました。

⑤リゾート事業

リゾート事業につきましては、函館、箱根、由布院、石垣島の全国4拠点において会員制リゾートホテルの運営を行っております。

リゾート事業の売上高は3億39百万円（前年同期比109.7%増）、経常損失は44百万円（前年同期は1億91百万円の経常損失）となりました。

⑥その他

その他につきましては、調剤薬局事業及び医療関連事業を行う連結子会社の「ロングライフメディカル株式会社」、国内外企業への投資及びコンサルタント事業を行う連結子会社の「ロングライフグローバルコンサルタント株式会社」及び「朗楽(青島) 顧養運営管理有限公司」の3社により構成されております。

当セグメントの売上高は7億29百万円（前年同期比5.4%増）、経常利益は17百万円（前年同期は18百万円の経常損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4億69百万円増加し、170億79百万円となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末より2億43百万円減少し、44億74百万円となりました。その主な内訳は、現金及び預金が1億85百万円減少したことによるものであります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末より7億12百万円増加し、126億4百万円となりました。その主な内訳は、有形固定資産が7億32百万円、のれんが30百万円それぞれ増加したことによるものであります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末より5億27百万円減少し、71億46百万円となりました。その主な内訳は、短期借入金が3億81百万円、前受金が2億26百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末より13億51百万円増加し、71億54百万円となりました。その主な内訳は、長期借入金が13億56百万円増加したことによるものであります。

また、純資産は前連結会計年度末に比べ3億54百万円減少し、27億78百万円となり、自己資本比率は16.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年10月期の業績予想につきましては、2019年3月6日に公表しました内容に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,263	1,094,022
受取手形及び売掛金	1,682,523	1,684,620
たな卸資産	217,871	191,281
預け金	1,140,345	1,140,626
その他	409,351	363,702
貸倒引当金	△11,732	—
流動資産合計	4,717,622	4,474,254
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,809,438	8,597,633
減価償却累計額	△2,977,119	△3,041,523
建物及び構築物(純額)	5,832,318	5,556,110
車両運搬具	16,807	16,606
減価償却累計額	△11,213	△12,720
車両運搬具(純額)	5,594	3,886
工具、器具及び備品	799,330	777,659
減価償却累計額	△487,144	△512,475
工具、器具及び備品(純額)	312,185	265,183
土地	3,679,322	3,679,322
リース資産	340,413	348,310
減価償却累計額	△307,074	△318,674
リース資産(純額)	33,338	29,636
建設仮勘定	914,418	1,975,840
有形固定資産合計	10,777,178	11,509,980
無形固定資産		
のれん	—	30,960
その他	46,499	53,269
無形固定資産合計	46,499	84,230
投資その他の資産		
投資有価証券	126,031	106,179
関係会社株式	0	5,000
差入保証金	740,594	712,884
長期前払費用	57,097	49,634
繰延税金資産	20,104	10,134
その他	124,605	126,933
投資その他の資産合計	1,068,433	1,010,766
固定資産合計	11,892,111	12,604,977
資産合計	16,609,734	17,079,231

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	191,102	170,002
短期借入金	551,200	170,000
1年内返済予定の長期借入金	378,660	428,660
リース債務	14,475	11,265
未払金	396,653	334,060
未払費用	585,298	610,513
未払法人税等	20,546	70,391
前受金	5,353,030	5,126,192
賞与引当金	96,536	85,520
契約解除引当金	14,554	6,335
その他	71,653	133,528
流動負債合計	7,673,710	7,146,469
固定負債		
長期借入金	5,540,135	6,896,440
リース債務	17,353	16,849
繰延税金負債	22,016	17,423
退職給付に係る負債	99,728	114,106
資産除去債務	112,905	97,213
その他	11,197	12,628
固定負債合計	5,803,336	7,154,661
負債合計	13,477,046	14,301,131
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	—	10,982
利益剰余金	3,245,695	2,851,506
自己株式	△251,175	△213,273
株主資本合計	3,094,520	2,749,215
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,742	30,478
為替換算調整勘定	△2,575	△1,593
その他の包括利益累計額合計	38,167	28,884
純資産合計	3,132,687	2,778,100
負債純資産合計	16,609,734	17,079,231

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
売上高	9,591,953	9,852,099
売上原価	7,529,982	7,830,675
売上総利益	2,061,970	2,021,424
販売費及び一般管理費	1,847,100	2,032,924
営業利益又は営業損失(△)	214,870	△11,499
営業外収益		
受取利息	29	29
受取配当金	2,657	2,916
受取保険金	229	10,549
持分法による投資利益	1,722	—
その他	7,072	15,825
営業外収益合計	11,710	29,319
営業外費用		
支払利息	58,450	65,570
支払手数料	152,523	18,750
租税公課	19,722	—
その他	15,715	5,677
営業外費用合計	246,412	89,997
経常損失(△)	△19,831	△72,177
特別損失		
減損損失	—	99,954
投資有価証券評価損	—	5,323
その他	1,946	20,978
特別損失合計	1,946	126,256
税金等調整前四半期純損失(△)	△21,778	△198,433
法人税、住民税及び事業税	42,943	103,078
法人税等調整額	54,113	10,797
法人税等合計	97,057	113,876
四半期純損失(△)	△118,835	△312,310
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△118,835	△312,310

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2017年11月1日 至 2018年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)
四半期純損失(△)	△118,835	△312,310
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,658	△10,264
為替換算調整勘定	228	981
その他の包括利益合計	△2,429	△9,282
四半期包括利益	△121,265	△321,592
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△121,265	△321,592
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2019年5月15日開催の取締役会決議に基づき、2019年5月15日を期日とし、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は37,901千円(144,200株)減少いたしました。その後、付与株式の返還による増加(1,200株)もあり、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は213,273千円(812,605株)となりました。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2017年11月1日至2018年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,320,927	4,107,275	1,263,435	45,972	162,003	8,899,614	692,338	9,591,953
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	2,250	2,025	66,457	452,435	1,336	524,505	14,228	538,733
計	3,323,177	4,109,301	1,329,893	498,407	163,340	9,424,119	706,566	10,130,686
セグメント利益又は 損失(△)	9,137	50,079	18,547	20,865	△191,105	△92,474	△18,055	△110,530

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△92,474
「その他」の区分の損失(△)	△18,055
未実現利益の調整額	107
全社損益(注1)	84,744
その他(注2)	5,847
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△19,831

(注) 1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。

2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2018年11月1日 至 2019年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	ホーム 介護	在宅介護	福祉用具	フード	リゾート	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,401,066	4,207,668	1,145,320	28,683	339,672	9,122,411	729,688	9,852,099
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	3,400	3,626	73,764	456,609	1,095	538,495	9,967	548,463
計	3,404,466	4,211,294	1,219,084	485,292	340,768	9,660,907	739,655	10,400,562
セグメント利益又は 損失(△)	△263,088	4,686	10,273	5,110	△44,867	△287,885	17,758	△270,127

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、調剤薬局事業、医療関連事業、投資及びコンサルタント事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位: 千円)

利益	金額
報告セグメント計	△287,885
「その他」の区分の利益	17,758
未実現利益の調整額	107
全社損益(注1)	197,392
その他(注2)	450
四半期連結損益計算書の経常損失(△)	△72,177

- (注) 1. 全社損益は、当社におけるグループ会社からの経営指導料収入及びグループ管理に係る費用であります。
2. その他は、主に報告セグメントに帰属しない会社(持株会社である当社)に対する取引高の消去であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

2018年5月1日付のエルケア株式会社からロングライフファーマシー株式会社(現ロングライフメディカル株式会社)への医療関連事業の承継に伴う損益管理区分の見直しを行い、前第3四半期連結会計期間より、従来まで「在宅介護事業」の区分としていた医療関連事業を「その他」の区分に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の方法に基づき作成しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間にて、ホーム介護事業において87,132千円の減損損失を計上しており、その他セグメントのうち調剤薬局事業において7,053千円の減損損失を計上しております。また、各報告セグメントに配分していない全社資産において5,768千円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。